

建設業

回答企業58企業

概況

～業況判断D I 値 やや悪化で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比3.4ポイント低下の▲8.6とやや悪化し、前回調査予想値(6.9)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注が22.4ポイント低下の▲12.1、売上数量では19.0ポイント低下の▲15.5、利益では1.7ポイント上昇の▲6.9となった。D I 値は2項目で悪化、1項目でやや改善となった。

各業種に於いて、公共工事を中心に受注はあるものの、人員不足による受注調整や資材高騰の影響を受け総じて低調に推移。

分野別の状況

～総合的業況はやや悪化で推移～

造園工事業では、雪囲いの受注が本格化し業況は好調に推移。但し、固定客の減少は続いている。

住宅新築は資材高騰により坪単価が高騰し低調、リフォーム工事が増加し売上を確保している。

舗装工事や解体工事は受注あるものの、人員不足により受注調整必要となり人材確保が急務となる。

来期の見通し

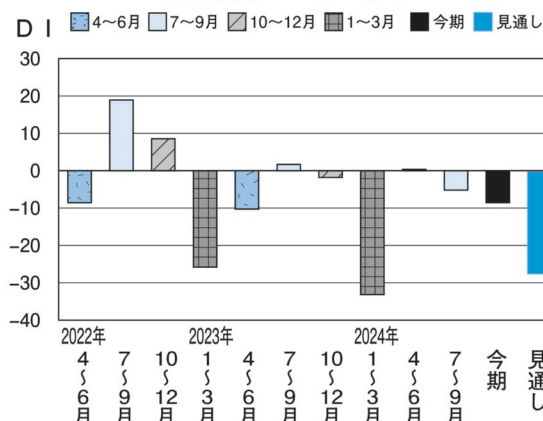
～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比19.0ポイント低下の▲27.6と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で27.6ポイント低下の▲39.7、売上数量も22.4ポイント低下の▲37.9、利益でも34.5ポイント低下の▲41.4と大幅な悪化となった。

来期は閑散期となるため悪化の見通しである。除雪事業を受注している業者に於いては降雪量の多い予報となっている事から期待している。

業況判断D I 値の推移



製造業

回答企業32企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比6.2ポイント上昇の▲21.9とやや改善し、前回調査予想値(▲9.4)は下回る結果となった。項目別では、売上・受注は横這いの▲6.3、売上数量は3.2ポイント上昇の▲3.1、利益では6.3ポイント低下の▲18.8となった。

食品加工業では、原材料の高騰から利益は減少傾向。製菓業は各種イベントから業況は堅調に推移。建築資材製造業も受注安定しているが、原材料価格上昇から利益確保に苦慮している。

分野別の状況

～総合的業況はやや改善で推移～

衣料縫製業では、スーツ・学生服需要期であり業況堅調に推移。「人員不足」により生産が落ち込む事業者もあった。

りんごの加工業に於いては、仕入価格高騰により生産量が減少している。

印刷業では企業からの年賀はがきの受注が大きく減少しており厳しい状況。

来期の見通し

～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比21.8ポイント低下の▲43.7と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で15.6ポイント低下の▲21.9、売上数量でも21.9ポイント低下の▲25.0、利益でも6.2ポイント低下の▲25.0となった。

年始や卒業等のイベントによる期待はあるものの、例年閑散期であるため、各事業者とも悪化を見込んでいる。

業況判断D I 値の推移

